

大山っ子チャレンジ教室

大山公民館 主事 塚田寿美香

1. 「大山っ子チャレンジ教室」

「大山っ子チャレンジ教室」は大山公民館が主催する、小学生を対象とした青少年学習事業です。

様々な体験活動を通して「自主性・協調性・忍耐力・チャレンジ精神を育む」「ルール・マナーを守りコミュニケーション力・責任感・思いやりと感謝の気持ちを育てる」ことを目的としています。

「防災講座」「IT 講座」「夏合宿」「ものづくり体験」「人権学習」「国際理解講座」「バス研修」など、体験でしか得られない様々な「学び」や「気づき」の場を年間13回程度開催しています。

2. 大山の「植物調査」への取り組み

植物調査に取り組むきっかけは、令和2年秋に前津江の児童と合同で田来原の山道をウォーキングした際、実ったアケビや美しい紅葉など様々な植物があり、「この豊かな森の植物を調べてみたい」と興味を持ちました。

調査の方法として児童は4～5人の班に分かれ、「郷土日田の自然調査会」会員である合谷勝彦さん、春末阿さんより指導を受けながら、①植物を採集し「スケッチブック」に挟む、②植物の水分を抜く、③画用紙に植物を貼り植物標本を作る④ラベルに「植物の科名・和名」「採集場所」「採集日」「採集者名」を記入する。⑤標本リストを作成し、植物の科名・和名を分類して、植物生育の特徴、わかったこと、気づいたことなど意見を出し合いまとめました。

3. 植物調査の経過

- 令和3年(2021年)10月16日
「田来原もみじ谷」「秋」の植物採集
- 令和3年(2021年)11月6日
「田来原もみじ谷」「秋」の植物標本作り
(植物標本作品 76 作品完成)
- 令和4年(2022年)5月28日
「田来原ミニ里山植物園」「春」の植物採集
- 令和4年(2022年)6月18日
「田来原ミニ里山植物園」「春」植物標本作り
(植物標本作品 161 作品完成)
- 令和4年(2022年)8月2日
「田来原」の植物調査まとめ
- 令和5年(2023年)5月28日

「烏宿山自然林」「初夏」の植物採集

- 令和5年(2023年)6月17日
「烏宿山自然林」「初夏」植物標本作り
(植物標本 141 作品完成)
- 令和5年(2023年)8月2日
「烏宿山自然林」の植物まとめ
3か年で植物標本トータル 378 作品完成



4. 烏宿山と田来原 特徴とわかったこと

烏宿山	比較内容	田来原
自然林で人が植えた植物がほとんどない 例外でツクシシヤクナゲ(観賞用)	山の様子	人が植えた植物が多い モミジバフウ、クヌギ、ホウノキ、ユリノキなど
12名	植物採集人数	24名
141個	採集植物数	161個
全体 45科 内訳 草本類 12科 木本類 33科	植物の科の数	全体 46科 内訳 草本類 23科 木本類 23科
全体 69種 内訳草本類 18種(内シダ植物 7種) (つる植物 8種) 木本類 51種	植物の和名	全体 88種 内訳 草本類 47種(内シダ植物 4種 つる植物 6種) 木本類 41種
なし	外来植物	4種類 キキョウソウ、マツバウンラン シロツメグサ、ヨウシュヤマゴボウ

2か所を比較すると、烏宿山は大きな常緑樹が茂り日陰で地面は草が少なく、シダ植物が多い。田来原は落葉樹が多く、地面に日が当たるので草が多い。烏宿山は「外来植物」がない。田来原には外来植物が4つあった。

烏宿山は人々が信仰する山として1,000年以上前に「烏宿神社」が建てられ、「神聖な場所」として地域の人から大切に森が守られてきた歴史があります。だから常緑樹が伐採されることなく大きく育っているし、外来植物もないのだとわかりました。

この大山の植物標本と調査のまとめを日田市博物館主催「夏休み自由研究作品展」に出展し令和4年度は「博物館協議会委員長賞」「教育委員会賞」「KCVコミュニケーションズ賞」のトリプル受賞、令和5年度も2つの賞を受賞しました。

3か年かかった団体としてのこの調査の取り組みで児童の「自主性」「協調性」「忍耐力」が育ったと思います。また、各賞の受賞は児童にとって「自信」と「誇り」になりました。

今後児童が「ふるさと大山の豊かな自然を大切に次の世代へつないでいきたい」という思いにつながればよいなと思っています。